

春山小だより



【学校教育目標】「他者とつながり、未来に向けて主体的に学び続ける子の育成」
【めざす児童像】「自分の考えをもつ子」「思いやりのある子」「心も体もきたえる子」
【研究テーマ】「考えを深められる子の育成 ～対話的活動を通して～」
福井市文京3丁目13-1 TEL：(0776) 22-8808
Mail：haruy-e@fukui-city.ed.jp

R8.7.6
第3号
文責：校長

宿泊学習

5年生が福井市少年自然の家で宿泊学習に行ってきました。1日目は県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館で学んだ後、朝倉探検隊と称してグループに分かれて遺跡を散策しました。夜はキャンドルサービスを行い、ゲームやダンスをしたり、全員がろうそくの炎を灯して幻想的な時間を過ごしたりしました。2日目は、スプーン作りとカレー作りに取り組みました。スプーン作りでは自然木の枝をのこぎりで切り、小刀で皮をそぎ落として世界に一つしかないオリジナルのスプーンに仕上げました。続くカレー作りでは、仲間と協力して食材を切ったり、薪で火を起こしたりしながら調理に奮闘していました。できあがったカレーを手作りのスプーンを使って満足そうに食べる子どもたちの姿が印象的でした。2日間を通して、協力し合い、仲良く活動することができました。



校外学習

5・6月には、どの学年も校外学習に出かけ、学校ではできない様々な学びを深めてきました。1年生はエンゼルランド、2年生は松島水族館、3年生は菜崎漁港・ふるさと資料館、4年生はクリーンセンター・九頭竜浄水場、6年生は恐竜博物館を訪れ、見学や体験活動に取り組みました。お昼にはお家の方が用意してくださったお弁当をおいしくいただき、友達と遊んだり、レクリエーションを楽しんだりして、思い出に残る時間を過ごすことができました。



プール学習がはじまりました

6月半ばからプール学習がはじまりました。学校では、安全にプール学習ができるように準備し、児童が楽しく水に親しみ、少しでも泳ぐことができるように取り組んでいます。

まずは6月上旬、プールの準備です。見学者用の日よけを張り、さらに低学年でも足が届くようにプールに台を沈めます。赤い足の台をつないでいき、水中に沈めて固定することで30cmほど浅くなる部分をつくります。

プール開きの直前には、消防署の方を講師に招き、心肺蘇生法の講習を受けました。これは毎年実施しているものです。さらに今年は、児童が溺れた場合を想定し、教職員が連携して救急要請や救命処置を適切に行うための実地訓練も実施しました。

心肺蘇生を行う役、119番通報を行う役、他の児童を安全に誘導する役、保護者へ連絡する役など、それぞれの役割を確認しながら、緊急時に迅速かつ適切に対応できるようチームで動くことを確認しました。特に、携帯電話で119番通報を行い、消防署と映像を共有しながら指示を受けて救命措置を実施する訓練は、大変有意義なものとなりました。

そして、いよいよプール開きを迎えました。今年は昨年度に比べて気温が低く、プール学習には少し肌寒く感じる日もありますが、子どもたちは意欲的に取り組んでいます。保護者の皆様には、プール学習の準備や健康観察にご協力いただき、誠にありがとうございます。プール学習も残りわずかとなりましたが、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



着衣泳

4年生と6年生が着衣泳を行いました。当日は、消防署の方7名にご指導いただき、安全に十分注意しながら体験活動に取り組みました。水中では、服を着ていると体が重く感じられ、泳ぎにくくなることや、無理に泳ごうとせず楽な姿勢で体を浮かせて救助を待つことの大切さを学びました。また、その際にはペットボトルなどの身近なものや、近くに浮いているものを利用して、より安定して体を浮かせていられることを学びました。



連合音楽会

福井市連合音楽会に6年生が参加し、「光をめざして」の合唱を発表しました。この音楽会に向けて、一生懸命に練習に励んできました。当日は、春山っ子らしい堂々とした姿で、心のこもった表現豊かな合唱を披露することができました。

